



第 55 号

千 町 田

のきの郷に思いをこめて

副代表理事 山本 明

初夏を迎え日差しが強くなり日焼け対策が必要になる季節となりました。のきの郷では田植作業の準備作業が続いているのですが、今年は冬季時においての積雪量が少なく、合わせてこのころの雨量も少ないこともあって田んぼへの水の供給が大変難しくなっています。今現在、関連各所への情報収集や要望などの取組みを行っているところですが、何分にも自然環境との戦いでもあるのですが、収穫量減少にならないよう十分な配慮が必要と考えているところです。

いちごについては、今年度はコロナ対策の関係もあり残念ながら観光農園が中止となりました。今季の収穫作業も終盤を迎えようとしています。暑い中でのハウス作業は大変ですが頑張ってください。今後も様々な作業がありますがご協力をよろしくお願致します。



のきの郷は従業員が増え以前と比べ従事する方の年齢も若くなってきました。作業の中で先輩方との意見の食い違いや、わからない事などいろいろあろうかと思えます。また楽な仕事などないと思えますが、楽しくすることはできます。よう。そうするためには全体のチームワークが大きな役割となり、気を使うのではなく全員がそれぞれへの思いやりと心配り心配りで接して他の人の意見を自然に受け止め自分置き換えることが出来る



れは仕事も楽しくなるのではないかと私は思います。まだまだ春作業は続きますが、どんな仕事でもみんな一緒に頑張っていきたい。組合員の皆様方には今後ともご理解とご協力をお願い致します。またこれからの時期、熱中症への



能義小学校 田植え体験学習

5月27日に能義小学校5年生9人で田植えの体験学習がありました。学校の隣の田んぼの一部分で田植えをしました。



まずは苗の持ち方植え方を教わってから田んぼに入り、田植綱を頼りに植えていきました。寿会の皆さんなどにアドバイスをいただきながら泥に足をのりながら作業を体験することが出来ました。



心配も出てまいります。十分の気を付けてお過ごしください。



田んぼの様子



作業進めました。6月初旬には飼料用米の田植えが始まります。これに田植えしたつや姫やWCS用稲はすくすくと育っています。

小麦と菜種は刈取りの時期を迎えます。菜種はさやを膨らませ、小麦

は穂を風にそよがせています。天気の良い日が続くので、どんどん実ってきています。いちごは今



5月の終わりに田植え第2弾が始まりました。主にきぬむすめ、が対象になります。水の工面などなかなか大変でしたが



季の収穫が終盤に差し掛かっています。ぶどうには小さな房が付き今秋から収穫の予定です。

お知らせ

◎保有米・縁故米数量変更について
注文をいただきました令和4年産保有米・縁故米ですが、8月下旬まで数量変更可能ですので、変更を希望される方はのきの郷事務所までご連絡ください。

◎なたね油販売
今年もお中元の時期が近づいています。お品選びの中のにきの郷のなたね油はいかがでしょう。箱入りも準備しており、のし掛け包装も承りますのでお気軽にお声掛けください。



また、令和2年産なたね油を値下げしております。賞味期限は迫っておりますが、揚げ物などにお気軽にご利用いただけると思います。ぜひこの機会にご賞味ください。



笹巻

月遅れの端午の節句の時期となりました。笹巻を巻いてお祝いされたり、遠方に送られたりする方もいらっしゃると思いますが、ちまきを「ちまき」とも言いますが、ちまきという名前の由来は、古くは「茅(ちがや)」の葉で包んでいたため、「茅巻き(ちがやまき)」と呼ばれていました。「茅」は「ち」とも言い、「ちがやまき」から「ちまき」と呼ばれるように変化したようです。

ちよっこし聞いて

笹巻の季節となり今年も巻くか巻かぬか思案しているところです。最近笹巻を結び時に使うイ草を見かけなくなりました。昔は田んぼ道の入りに生えてましたよね。お店で売っているのは畳表に使うイ草が多いです。あの花のついたイ草がどこにあるかご存じでしたら教えてください。そしてイ草があってもなくても頑張ってもみょうかな。(セ)

